

グリーフサポートせたがや 2021年度活動報告



活動期間
2021年7月1日～
2022年6月30日

サポコハウスに子どもたちの声が戻ってきました。グリーフサポートプログラムは新型コロナウイルスの感染対策をしながらリアルで再開し、連続講座は引き続きオンライン配信で行ないました。プログラム休止中もファシリテータはサポコハウスに集まっておもちゃの整理整頓をしたりして準備の時間を過ごし、スムーズに子どもプログラムの再開につながりました。

サポートプログラム

子どもプログラム、おとなプログラム、パートナー死別サポートプログラムの参加者数は、こどものべ20名、おとなのべ110名、参加したファシリテータのべ80名でした。



ファシリテータ養成講座

2021年は感染予防のため定員5名のファシリテータ養成講座を1回実施しました。

年代も背景もさまざまな参加者の方々と一緒に、グリーフサポートにおける安心安全な場づくりの大切さを学びました。

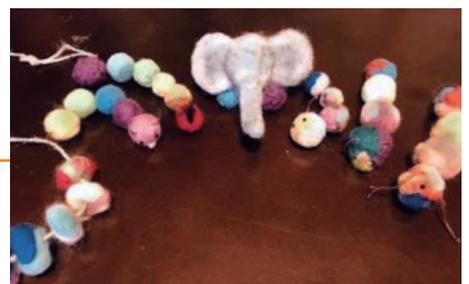


個別相談・電話相談

対面相談の来談者はのべ52名、電話相談の利用者はのべ76名でした。個別相談は世田谷区グリーフサポート事業の補助により初回は無料です。

サポコラボ

2021年6月から世田谷まちづくりファンドの助成を得て新たに「サポコラボ」が始まりました。コロナ感染防止策をとり、飲食の提供を控え、事前申し込み制にし、アートや上映会、ボディワークなど、さまざまな「コラボ」にトライしました。



いつもご支援ありがとうございます！

「グリーフサポートせたがや」の活動はすべてボランティアと助成金で行っています。皆様からの賛助会費やご寄付は、サポートプログラムや、サポコハウスの運営費として大切にに使わせていただいております。

講座・ワークショップなど

全3回にわたるオンライン連続講座「グリーフが繋げる物語」を開催しました。

第1回 「私の繋がり、繋がりのおし〜Mo'okū'auhau(モ・オクー・アウハウ)Genealogy」

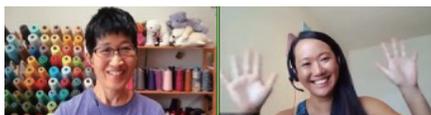
講師：内田裕子さん

第2回 「The role of stories in our lives〜人生を奏でる物語」

講師：大久保シェリルさん

第3回 「私たちがグリーフを受け止め、育むということ」

講師：高久ゆうさん、中澤知己さん、矢作理歩さん、土肥真人さん



講演録『子どもグリーフに寄りそう&響き合うグリーフ』を発行

新型コロナウイルス感染症が広がる直前の2020年1月に行なった、ダギーセンターのジョーンさん、あしなが育英会の西田正弘さんをお招きした講演会「子どもグリーフに寄りそう」と、コロナ下で開催した2020年度オンライン連続講座「響き合うグリーフ」の講演録を発行しました。

ご寄付をお願いしています

グリーフサポートせたがや「サポコハウス」を継続的に運営するためにご寄付をお願いしています。詳しくは、sapoko.org/support をご確認ください。賛助会員も募集しています。ぜひ継続的にご支援いただくと嬉しいです。

会費：個人 1口 5,000円、団体 1口 10,000円(会計年度7月1日～翌6月30日)。

不要になった本やCD、DVDで寄付できる仕組み「ありがとうブック」さんでの支援もできます。

ありがとうブック



2021年度決算報告

2021年度収支報告(2021年7月1日～2022年6月30日)

(単位:円)

収入		支出	
会費	280,000	グリーフに向き合うスペース運営事業	5,222,674
グリーフに向き合うスペース運営事業	311,813	グリーフに関わる普及・啓発事業	2,797,559
グリーフに関わる普及・啓発事業	365,640	管理費	192,413
公的補助金収入	3,691,200	次期繰越	-76,722
民間助成金収入	369,000		
寄付金収入	3,118,249		
受取利息	22		
収入合計	8,135,924		8,135,924

※グリーフに向き合うスペース運営事業とは、個別相談、ファシリテータ養成講座にかかる事業。

グリーフに関わる普及・啓発事業とは、講座、ワークショップにかかる事業

